

5G通信

Vol.34



いま話題の次世代通信「5G」に関する
とっておきの情報をご紹介します

2020年、ついに5G始動

2020年、豊かな未来に向け、世界で5Gが本格始動します！

日本の商用サービスは2020年春に順次スタート

- 2019年春、米国、韓国を皮切りに商用サービスが始まった「5G(第5世代移動通信システム)」ですが、2020年はより多くの国、広範囲のエリアで5Gが利用できるようになります。世界各国で5G商用化が本格的に加速するとともに、スマートフォン(以下、スマホ)など5G対応端末の普及も進展する見込みです。
- 日本のサービス開始時期は、NTTドコモが2020年春、KDDI/沖縄セルラー電話が2020年3月、ソフトバンクが2020年3月頃、楽天モバイルが2020年6月頃と報道されています。
- 2020年夏の東京五輪では、5Gスマホを実際に利用できるだけでなく、多視点映像視聴によるスポーツ観戦など5Gの特性を活かした新しいサービスが体験できるかもしれません。5G普及の契機になると期待されます。

5Gがグローバルな経済成長を牽引

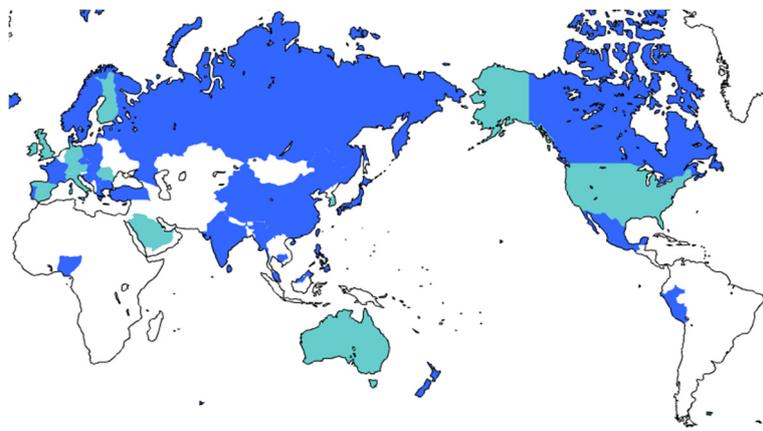
- 5Gは国の政治・経済的にも極めて重要なインフラとみられており、各国政府は国策として5Gに関する新技術の開発・研究を積極的に後押ししています。
- 日本政府・与党が公表した令和2年度税制改正大綱では、5Gの普及を加速させるため「5G導入促進税制*1」が盛り込まれ、「経済社会や国民生活の根幹をなす情報通信インフラ」と位置付け、5Gの通信網整備を国家戦略として推進すると明記されました。
- また、新たな市場創出を期待されているのが「ローカル5G*2」です。これまで無線化が進んでいなかった工場や農場、建設現場やイベント会場、病院などで導入が見込まれており、5G関連市場の需要は大きく拡大する見通しです。
- 5Gが織りなす「超スマート社会」の実現はもう間近です。5Gを契機とした大きな産業の変革が、グローバルな経済成長を牽引していくことが期待されます。

世界の5G商用化計画

2019年10月上旬現在、

世界**18カ国**で5G商用化

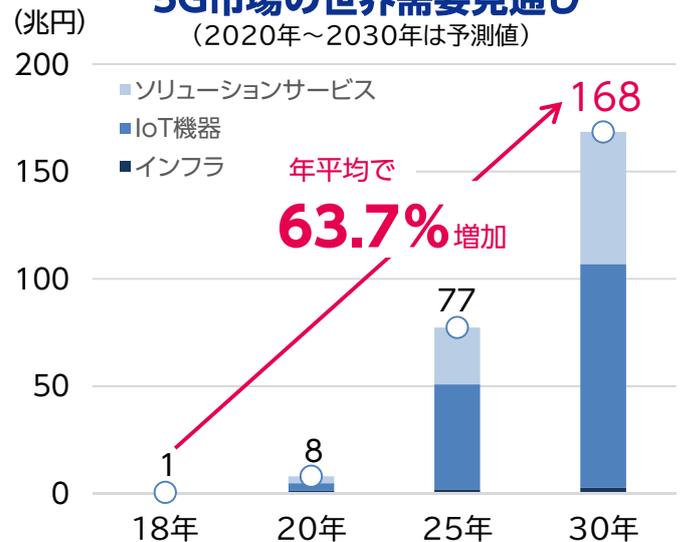
■ 5G商用化済
■ 5G商用化予定



※中国は2019年11月に商用サービスを開始しています。
※上記は2019年10月上旬時点の情報に基づいたものです。なお、商用化は国によりカバーしている範囲が異なります。
(出所) GSMA (携帯通信事業者の業界団体) [Global Mobile Trends 2020] を基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

5G市場の世界需要見通し

(2020年~2030年は予測値)



(出所) 一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)のデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

* 1: 5Gの通信網整備を促す総額120億円規模の減税策
* 2: 大手通信事業者ではない一般企業や自治体などが主体となって、個別のニーズに応じて構築する局所的な5Gネットワーク



【 ご留意事項 】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。